

新たな地域交通の導入

区では、高齢者や障害者、子育て世代など、誰もが快適に移動でき、住み続けたいと思える新宿のまちの実現を目指し、これまで、有識者や区内交通事業者等から意見をいただきながら、新たな地域交通の導入に向けた検討を進めてきました。

今年度は、AIオンデマンド交通の実証運行を実施し、区民の利便性の向上、移動手段の確保に向けた取り組みを推進します。

実証運行の実施

1 実証運行の内容

○運行内容

AIオンデマンド交通を中心とした新たな地域交通の実証運行を実施する。

○運行候補地区

落合第一・落合第二・戸塚特別出張所が所管する区域の一部

○運行時期

令和6年11月以降

新たな地域交通のイメージ

①アプリ又は電話で、目的地を指定し、乗車場所を確認する。

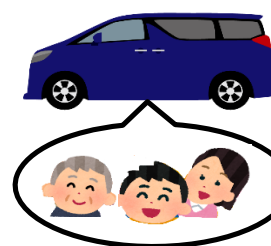
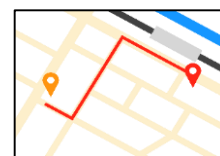


②指定の乗車場所に歩いて行く。



③乗合い自動車で目的地まで行く。

AIが効率的な経路を決定



2 関係機関等との協議・検討

停留所や運行料金などの運行計画については、地元住民のご意見を踏まえながら、区内交通事業者や有識者の方々と検討を進め、長く親しまれる地域交通になるよう、検討を進めていきます。

運行事業者に対する支援

1 導入経費の補助

新たな地域交通の導入については、安定的な運行が望まれる一方、車両の購入・改造、システムの導入等の経費が必要となります。そのため、交通事業者が新規に事業構築しやすくなるよう導入経費の補助を行います。

○補助対象者

区内に拠点があり、新たな地域交通導入に関する連携協定を締結した事業者

○補助対象経費

車両購入費、車両改造費、システム導入費

○補助額

5,100千円／年度

(実証運行の期間に合わせて、最大3年間で15,300千円)

2 関係者との調整を支援

実証運行の開始にあたっては、仮想停留所の設置や国土交通省への申請、運行候補地区住民への説明等、様々な手続き・業務が必要です。

そのため、国や警察等との協議を支援するとともに、地域住民の理解・利用促進につながるよう、関係者及び関係機関との調整を行います。

3 実証運行後の効果検証

運行候補地区にお住まいの方を対象に、「導入前アンケート」を実施するとともに、実証運行開始後半年程度を経過した時点で「導入後アンケート」を実施します。

アンケート結果を踏まえ、利用状況や移動機会の向上への寄与など、多様な視点から効果検証を実施し、運行事業者と連携して改善を図っていきます。